令和８年度　福岡医療専門学校　養成人材像および３つのポリシー

教育理念	親が子に残せる唯一の財産は教育である					
教育目的	知識・技術・人間性を兼ね備えた人材を育成する					
養成人材像	専門職となるのに必要な知識と技能を修得し、他者と良好な関係を築きながら、その能力を生涯にわたり研鑽し続けることができる医療人を養成する。					
	理学療法科	診療放射線科	看護科	柔道整復科	鍼灸科	歯科衛生科
養成人材像	豊かな人間性をもち、多職種と連携して基本的理学療法を実践できるとともに、生涯にわたり学び続ける理学療法士を養成する。	豊かな人間性と高い実践力を備え、チーム医療に貢献し、進化する医療技術に柔軟に対応できる診療放射線技師を養成する。	豊かな人間性と倫理観をもち、多職種と連携しながら様々な対象に対して看護を創造できる看護師を養成する。	患者に寄り添いながら適切な施術を行い、専門分野を探究し続けることができる柔道整復師を養成する。	東洋医学と西洋医学の両面から判断し、豊かな人間性を持ったはり・きゅう施術ができる鍼灸師を養成する。	豊かな人間性をもち、多職種と連携しながら人々の健康長寿を目指した口腔健康管理を実践できる歯科衛生士を養成する。
DP 称号授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	1. 他者と良好な関係を築くとともに、主体的な判断に基づき行動することができる。	1. 他者の意見を尊重し、良好な人間関係を築ける社会性と、科学的かつ論理的に判断し行動する能力を身につけている。	1. 思いやる素直な心を持って他者の言葉を傾聴し、対象をひとりの人間としてかかわることができる。	1. 多様な価値観を理解したうえで、他者と良好な関係を築くことができる。	1. 他者と良好なコミュニケーションをとることができる。	1. 豊かな人間性をもち、他者と協調できるコミュニケーション能力を身につけている。
	2. 人体の構造と機能、疾病と障がいに関する知識を習得し、基本的理学療法を実践する技能を身につけている。	2. 基礎医学および保健医療の幅広い知識・技術を活用し、多職種と連携しながら的確に行動できる能力を身につけている。	2. 健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復および苦痛の緩和にかかわる知識と技術を身につけている。	2. 人体の構造と機能、疾病と障害、法令や制度に関する知識を修得し、柔道整復の適応を判断できる。	2. 地域保健、スポーツ、美容などのニーズを東洋医学と西洋医学の両面から判断することができる。	2. 口腔保健に関する専門的知識や技術を備え、口腔の健康を支援することができる。
	3.　多職種と連携し、対象者の状態に応じて、基本的理学療法を実践できる。	3. 専門知識・技能を活用し、チーム医療の一員として、適切かつ安全に診療放射線業務を実践できる。	3. 臨床判断能力を身につけ、多職種と連携しながら、対象に応じた看護が実践できる。	3. 骨折・脱臼・捻挫等の外傷の予防と治療に必要な知識と技術を身につけ、柔道整復の施術を確実かつ安全に実践できる。	3. 地域社会と良好なコミュニケーションをとりながら、はり・きゅうを安全に実践することができる。	3. 多職種と連携しながら、チーム医療や地域医療において協働することができる。
	4. 自ら課題を見出し解決に努めるとともに、生涯にわたり研さんし続ける能力を身につけている。	4. 向上心を持ち、生涯にわたり学び続ける姿勢と実践力を身につけている。	4.自己の課題を明確にし、専門職業人として研さんし続ける能力を身につけている。	4. 専門分野について探究する姿勢と研さんし続ける能力を身につけている。	4.　専門職業人として生涯にわたり研さんし続ける能力を身につけている。	4. 専門職業人として生涯にわたって自己研鑽に努め、社会に貢献することができる。
CP 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	1. 他者との良好な関係を築き、主体的な判断と行動ができる能力を養う「基礎分野」の科目を設置する。	1. 社会人として求められる社会性を身につけ、科学的・論理的に思考できる能力を養う「基礎分野」の科目を設置する。	1. 人間と社会の仕組みを幅広く理解し、情報対応能力およびコミュニケーション能力を養う「基礎分野」の科目を設置する。	1. 科学的思考を涵養し、人間や社会に関する幅広い知識とコミュニケーション能力を養う「基礎分野」の科目を設置する。	1. 人間と社会の仕組みを幅広く理解し、コミュニケーション力を高める能力を養う「基礎分野」の科目を設置する。	1. 生命科学および基本的な情報処理の理解を深め、科学的思考の基盤を形成しコミュニケーション能力を養う「基礎分野」の科目を設置する。
	2. 人体の構造と機能、疾病と障がいに関する知識を習得し、多職種と連携できる能力を養う「専門基礎分野」の科目を設置する。	2. 医学・理工学・放射線科学に関する基礎知識と技術を修得し、専門分野に応用できる能力を養う「専門基礎分野」の科目を設置する。	2. 人体を系統立てて理解し、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できる能力を養う「専門基礎分野」の科目を設置する。	2. 人体の構造と機能、疾病と障害、保健医療福祉の法令制度に関する知識、柔道整復の適応を判断する能力を養う「専門基礎分野」の科目を設置する。	2. 人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、社会保障制度および職業倫理を理解する能力を養う「専門基礎分野」の科目を設置する。	２. 人体の構造と機能、歯や口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを理解する能力を養う「専門基礎分野」の科目を設置する。
	3.　系統的な理学療法プログラムを立案し、基本的技能を実施する能力を養う「専門分野」の科目を設置する。	3. 多職種と連携し、適切かつ安全に診療放射線技師としての業務を遂行する能力を養う「専門分野」の科目を設置する。	3.身につけた専門的な知識・技術・態度を統合し、多職種と連携しながら、看護を展開できる能力を養う「専門分野」の科目を設置する。	3. 骨折・脱臼・捻挫等の外傷の予防と治療に必要な知識や技術、臨床における実践的能力や探求心を養う「専門分野」の科目を設置する。	3. 東洋医学と西洋医学の両面から疾病を理解し、安全にはり・きゅうを実践できる能力や探求心を養う「専門分野」の科目を設置する。	3. ライフステージごとに専門的な知識・技能を駆使して、口腔機能の変化を把握し歯科保健医療を提供できる能力を養う「専門分野」の科目を設置する。
AP 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1. 理学療法士を目指して、主体的に学習をする意欲がある人	1. 診療放射線技師を目指して、主体的に学習をする意欲がある人	1. 看護師を目指して、主体的に学習をする意欲がある人	1. 柔道整復師を目指して、主体的に学習をする意欲がある人	1. 鍼灸師を目指して、主体的に学習をする意欲がある人	1. 歯科衛生士を目指して、主体的に学習をする意欲がある人
	2. 他者の意見を受けとめるとともに、自らの意見を表現できる基礎学力を身につけている人	2. 他者の意見を受けとめるとともに、自らの意見を表現できる基礎学力と数学的な基礎学力を身につけている人	2. 他者の意見を受けとめるとともに、自らの意見を表現できる基礎学力を身につけている人	2. 他者の意見を受けとめるとともに、自らの意見を表現できる基礎学力を身につけている人	2. 他者の意見を受けとめるとともに、自らの意見を表現できる基礎学力を身につけている人	2. 他者の意見を受けとめるとともに、自らの意見を表現できる基礎学力を身につけている人
	3. 他者との関わりを大事にして、協力しながら学習できる人	3. 他者との関わりを大事にして、協力しながら学習できる人	3. 思いやりと責任感を持ち、他者と協力しながら学習を進めることができる人	3.　他者との関わりを大事にして、協力しながら学習できる人	3. 他者との関わりを大事にして、協力しながら学習できる人	3.他者との関わりを大事にして、協力しながら学習できる人